

1                   ベセスダ分類導入にむけて～ASCの細胞  
2 像を中心に～その1  
3

4 ○北村真（東邦大学医療センター佐倉病院/CT） 小  
5 林貴代（同/CT） 平山美佐子（同/CT） 山口みはる  
6 （同/CT） 山崎利城（同/CT） 寺井謙介（同/MT） 蛭  
7 田啓之（同/MD） 亀田典章（同/MD）  
8

9 **【目的】** ベセスダシステム 2001（以下 TBS2001）導  
10 入に向けて、新しいカテゴリーに対する理解を深め  
11 る為に、TBS2001 による分類を試行的に行った。ASC  
12 と判定した症例を中心として細胞像の検討を行い、  
13 問題点や課題を明らかにする。  
14

15 **【方法】** 2008 年 8 月からの子宮頸部細胞診検査にお  
16 いて、現在行っている日母クラス分類とともに TBS  
17 2001 による判定を行った。ASC-US および ASC-H 判定  
18 の細胞所見について、陰性や SIL 判定の細胞所見、  
19 組織診断、HPV-DNA 検査結果と比較し、当院の診断  
20 基準の評価を行った。  
21

22 **【結果】** TBS2001 を導入する際に生じると考えられ  
23 た問題点や検討課題について、実際の細胞判定成績  
24 や細胞像とともに報告する。  
25

26                   043-462-8811（代表）  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39